



飯能ロータリークラブ会報



唐竹晩秋 Karatake in late autumn

© photo by Isao Yoshida

“世界へのプレゼントになろう”

RI会長 K.R.ラビンドラン

2570地区ガバナー 高柳 育行

第3グループ
ガバナー補佐 吉田 譲二

「ロータリーの心を実践しよう」

第2668例会 2015. 10. 7

—— 経済と地域社会の発展月間 ——

天候 晴 (NO. 52-15)

会長 間邊元幸 幹事 土屋 崇

例会日 水曜日(12:30~13:30) 当番 中里(昌)君、中里(忠)君

例会場：ホテル・ヘリテージ飯能sta.

☎(042)975-1313 〒357-0038 飯能市仲町11-21

事務局：飯能商工会議所内 〒357-0032 飯能市本町1-7

☎(042)974-3111(代) FAX (042)973-1662

http://www.hanno-rc.org/ E-mail: hannorc@hanno.jp

- ・点鐘 間邊会長
- ・ソング 君が代 奉仕の理想
- ・四つのテスト斉唱 川口職業奉仕委員
- ・卓話 沢辺滯老会員

【会長報告】

季節の花も曼珠沙華からコスモスに代わり、日一日と秋の深まりを感じます。読書の秋、芸術の秋、実りの秋、そして食欲の秋。特に自分は食べる事が好きですので、これ以上太らないようにウォーキングを始めました。

先程、第5回理事会を開催。加治中吹奏楽部の北関東大会優勝、東日本大会2年連続出場の快挙を称え、飯能RCとしてもお祝します。「記念演奏つながり」もあり、例会後、中里(昌)、神田(康)パスト会長、森青少年奉仕委員長と私の4名でお祝いに行きたいと思います。

【幹事報告】

第5回理事会について。第4回議事録確認。11月のプログラム承認。IM役員として中山会員を選任。RI第2820地区豪雨災害支援として第2570地区から100万円を送金。各クラブからは任意との事で飯能は5万円を地区に送金、地区から茨城の災害地区に送金します。クラブ内規「指名委員会」改正の提案があり、次年度発足までに決めたいと思います。社会福祉協議会、飯能地区暴力排除推進協議会等への協賛を確認しました。

【委員会報告】

◎社会奉仕委員会 服部君
10/15 飯能地区暴力排除推進協議会による「振り込め詐欺被害防止キャンペーン」飯能駅北

口9時~9時半。ジャンパーをお持ち下さい。10/18ロータリアンが自信をもって推薦する方々のブライダルパーティー、紫雲閣にて。登録者の推薦をお願いします。

◎親睦活動委員会

本橋君

10/14夜間移動例会は南口17時発。東松山「バーベキューパラダイス」へバスで向かいます。温かい格好で来て下さい。

【出席報告】MUなし

伊澤出席委員

会員数		当日		前々回修正 出席率
全数	対象	出席数	出席率	
57名	6名	52名	91.23%	法定休日による例会 取消のため修正なし

※無断欠席1名

【SAA報告】

◎ニコニコBOX

・皆様にごやっかいになります。よろしくお願
い致します。 山岸君

・早退 中里(忠)君

本日計3,000円、累計額209,022円。

◎14日例会当番は中山、大木会員です。

【卓話】

講師紹介

中里(忠)プログラム委員長

ドイツの地方都市の 自然エネルギーについて

飯能RC 沢辺滯老会員

[映像併用] 市長の時、会長をさせて頂いていた
治山林道協会50周年記念事業で、6月にドイツ

の「シュヴァルツヴァルト」(以下Sw)へ視察旅行に行き参りました。国に囲まれたドイツは絶えず周りと戦争したり競争したりで、統一国家が出来たのは新しい時代になってから。日本とはずいぶん歴史が違うところでもあります。

ミュンヘン→フュッセン→フライブルク→バーデンバーデン→シュトゥットガルトと、南の方を回りました。昔から木が鬱蒼と茂り人が近寄らない場所「Sw(黒い森)」。ドイツでも優秀な林業地でドイツ林業の発祥地とも言われる。日本の先達もここで学び日本林学の基礎になった場所でもあります。視察メンバーは、会長の秩父市長、井上淳治氏ほか、森林組合、土木業の代表等。Swの冬は寒いこともあり非常に静かな環境で精密機械が発達。深くものを考えるのに良いというので、ハイデガー、ヘーゲル、ヘルマン・ヘッセもここから出た。埼玉県出身の林学者・本多静六もここで学び、ドイツ林学を導入して明治神宮の森を設計しました。

ノイシュバンシュタイン城への基地、フュッセン泊。きれいな保養地です。ボーデン湖の対岸はスイス。いろいろな水が周囲から入るため、淀んだりして環境問題となっています。

- 視察は4か所。1) Swにおける森林政策、2) フライブルク市における環境問題の取り組み、3) ザンクト・ペーターのエネルギー政策、4) バーデンバーデンの観光政策。

Swを見るため、ラヴェンナ渓谷に立ち寄り。山村集落で、昔は林業に従事した人達がたくさん住んでいた。木造の「道の駅」には名産品「カッコー時計」。「水力製材機」の展示。水路もあった。早くから鉄道がひかれ木材搬出に使われた。檜の一種で針葉樹のドイツトウヒの割合が多い。

1) バーデン・ヴェルテンベルク州森林局クラウス氏による説明。ドイツNo.1の森林を持っている所で森林管理については300年以上の歴史がある。この森林はドイツ人の誇り。80年代には森林の70haが酸性雨被害に遭い大変な環境問題になった。州で持っている森林が24%、団体・法人38%、民有林37%とほぼ3分割。木の種類はブナ、ドイツトウヒ、モミ、残りの広葉樹。木材として使われる部分の60%は建築材に使用。州は森林育成のための法律と組織を作り、全体の管理をすると同時に、木の種類・大きさ・太さをデータ化。これを基に10年後にはどういう森林にしていこうかという計画を立ててやっている。森林育成計画の柱の1つは「天然更新」。生えたままを生かす手助けをしていくかたちを7、8割にしていく。将来的には針葉樹を減らし広葉樹と半々にしていきたいそうです。

現場で日本と違うのは、ドイツで効果的だと言われる「フォレストター」制度。専門教育を受けた人達が1000~2000haを担当、州全体に張り付いている。民有、州有問わず、これを州で負担しています。皆伐はせず、大きな木を抜き切り。欧州の木材需要は増大しているが、ドイツでは産出量は減少。売って業とするよりも環境面を重視している事が伺えました。「有害鳥獣はどうしているのか」という質問に対しては「我々は狩猟民族なので、そういうものはすぐ殺しちゃう」との事で、「全然悩んでない」という話をしておりました。

- 2) 民間の環境保護団体「イノベーション・アカデ



ミー」リーダーのシュルツ氏は40年も保護に取り組んでおられ、信念を持った、リーダーに相応しい人だと感じました。先の敗戦は国民にとって不幸な事だったので、今後ドイツの国づくりは環境面を重視して心穏やかな国・地方づくりをしていこうとこの問題に取り組んだとの事。チェルノブイリ原発事故後は再生可能エネルギーにシフトするために頑張っている。フライブルク市は人口22万、古くからの大学の町。ドイツNo.1の環境首都。市も頑張っているが、大きな力になっているのが民間団体。「アカデミー」は欧州最大のソーラー研究所と連携(傘下に置き)、民間から資金を集めて「民間投資基金」を作り、ソーラーや風力発電の普及に努める等、大規模な活動をしています。シュルツ氏と同じ風力模様のネクタイを私も買ってきました。世界全体の供給電力のうち再生可能エネルギーは1%。ドイツでは26%。2020年には88%にする目標。ドイツで原子力発電は一時30%を占めていた。今は半分だがまだ頼っている。フランスでは76%が原子力との事。

86mの風力発電の設置をした際には108人が投資。現場を視察しました。サッカーチームの本拠地スタジアムの屋根にソーラーが置いてあり芝生の暖房も賄っている。ライン川支流の小水力発電装置。市の約50%が再生可能エネルギー。まちなかの川、市電、緑化、自転車等、町を挙げて取り組んでいました。

3) 人口2600人程の小さな村の、民間の「エネルギー組合」ポーター氏からの説明。村の50%が森林。熱湯をパイプで村中に流し、暖房。バイオマス発電所の燃料は主にチップ。ペレットも使う。山から木を集めてくる労力が発電量に見合わないで日本では難しいとされるが、村では皆が運んできてくれる。1軒当たり約90万円を出資。余った電力は売電している。

4) ローマ時代からの温泉地。半官半民の観光局本部マイスナー氏の説明。地下2000mから吹き出す12の温泉がさまざまな温泉療法に利用されている。美しく整備された公園、カジノ、コンサートホール、博物館、宿泊施設、商店街も充実。ゴルフ場9つ、ハイキング道も整備された完璧な保養地でした。5万3000人の人口は減らしたくない。1人当たり落とすお金が1万円だが、これからは個人客に特化し、質の高い客を呼びたいとの事。親日的な人が多かったです。

平成27年11月のプログラム
(月間テーマ ロータリー財団月間)

月 日	例会数	行 事 予 定	当 番 [担当委員会]
11. 4	2,672	卓話「(未定)」 第2570地区 ロータリー財団委員会 地区役員	当 番 大野(泰)君 齋藤君 [R財団]
11.11	2,673	卓話「業界日本一を目指して」 (㈱ゼネラルワークス 代表取締役 金子敬治様)	【結婚・誕生日祝】 島田君 杉田君 [職業分類]
11.18	2,674	会員増強のための意見交換会 第2弾 会員選考委員会 大附会員選考委員長	塩野君 沢辺君 [会員選考]
11.25	2,675	卓話「大学生活と将来の夢」 奨学生 ホアン・フォン・チーさん	坂本君 土屋(貞)君 [米山記念奨学]